

現状と課題

- ◆人口減少・少子高齢化が進み、毎年200人前後の減少が50年間も続いている。
- ◆令和4年3月末の高齢化率は、48.4%、60代以上が全人口の56%を占めている。
- ◆人口減少の半数以上は自然減。団塊の世代の高齢化により自然減はまだまだ進行する。
- ◆人口減少により日常生活に不可欠な「生活インフラ（基盤）」が一気に脆弱化（スーパー、銀行、ガソリンスタンド、宅配便営業所、保育園等の閉店・閉所）
- ◆生活が不便になることで人口流出を加速させ、更に商圏居住人口が減少する悪循環
- ◆特に生産人口の減少が深刻。放置すれば、更に減少は進むのみ。今の人口が20年後に1/2（3,200人）との試算も
- ◆地域人材が不足すると、地域活動が停滞し、自助努力で地域を維持していくことも困難に
- ◆自然回復、自力での人口維持は望めない中、地域活力の維持には外からの手助け（人材・知恵）が必要不可欠 → 関係人口の創出、拡大

温海地域年齢（3区分別）人口



今後40年予測 このまま推移すると…
20年後1/2に！
40年後1/5に！

【年代別人口】

年齢	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳代	合計
人数	256	427	347	405	600	812	1,162	1,305	931	279	10	6,534
構成比	3.9%	6.5%	5.3%	6.2%	9.2%	12.4%	17.8%	20.0%	14.2%	4.3%	0.2%	100.0%

56.4% (3,687人) 令和4年3月末時点・住民基本台帳

R5年度地域まちづくり未来事業と5本の柱の関係

- ①あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出
- ②日浴道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化
 - ・温海地域水産物販売実証実験事業★
- ③自然・歴史・文化を活かした交流人口・関係人口の拡大
 - ・温海地域魅力創造発信事業★(あつみ温泉魅力向上事業含む)
 - ・温海地域教育環境充実事業★
 - ・温海地域支援ネットワーク推進事業★
 - ・保育園留学による関係人口創出事業
 - ・温海地域体験旅行推進事業
 - ・日本国登山イベント実施事業
- ④農林水産資源のブランド化
 - ・温海地域在来作物振興事業★
 - ・温海地域伝統的工芸品振興事業
 - ・温海地域小ロット農産物生産振興事業
- ⑤次代を見据えた自治機能とコミュニティ拠点の機能強化
 - ・温海地域集落ビジョン策定支援事業
- ⑥海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備
 - ・温海地域養蚕環境整備事業
 - ・温海地域自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業
 - ・温海地域高等学校等生徒通学費支援事業

★重点事業

産業振興

人材確保

産業振興

生活環境

教育環境

取組方針＝人口減少対策5本の柱

- 五本の柱
1. 産業の振興 ～就労の受け皿づくり
 2. 生活環境の維持・改善 ～住み続けるために
 3. 住民の健康づくり ～地域人材の維持
 4. 教育環境の充実 ～明日に向けた投資
 5. 人材の確保 ～新たな人材の獲得

令和5年度重点施策

温海との関わりしろを作る取組（関係人口創出）と財源の確保

5. 人材の確保 = 関係人口の創出

- ・温海地域支援ネットワーク推進事業
- ・地域おこし協力隊（H27～） → 特別交付税措置
- ・あつみ温泉の魅力づくりに対する指導・助言（H12～）
 - 観光庁 専門人材派遣事業
- ・日本SEL推進協会理事の「生きる力を育む教育」への指導・助言（R2～）
 - 地域再生計画に基づく地方創生推進交付金、企業版ふるさと納税
- ・保育園留学 → 県補助金

地域まちづくり未来事業以外の庁舎独自事業

- ・東京大学FS型政策協働プログラム（R2～） → 東京大学主催事業
- ・(株)旅武者による「武者修行プログラム」（R4～） → 民間企業主催事業
- ・農林水産省「地方応援隊」（R4～R5） → 農林水産省主催事業